



飛騨市総合政策指針を策定

「みんなが楽しく心豊かに暮らせるまち」の実現を目指して

策定の趣旨

飛騨市は、既に高齢者の人口が減り始め、全国の人口構成等の推移を先取りしている「人口減少先進地」です。本市では、人口減少を正面から受け止めた上で、今後も人口推計通りに人口が減っていくことを前提とし、あらゆる未知の課題に対して柔軟かつ臨機応変に対応し、その上でどういった豊かなまちづくりができるのかを示す基本的な指針として、飛騨市第2次総合計画の後継となる新たな指針「飛騨市総合政策指針」を策定しました。

位置づけ

飛騨市総合政策指針は、本市の5年後にありたい姿と、そのために進むべき方向を示す基本的な指針であり、未知の課題に挑戦する姿勢を示したものです。

政策重視の市政運営を図るため、飛騨市第2次総合計画の後継となる本指針は、市の最上位計画であるとともに、「第2期飛騨市まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「飛騨市人口ビジョン」を兼ねる計画です。

計画期間

本指針の計画期間は、2020年度(令和2年度)から2024年度(令和6年度)の5ヶ年です。

策定にあたっての基本的な考え方

本指針は、政策の大きな柱を示し、具体的な事業は毎年度の予算の枠内で組み立てることを基本としながら、「元気であんな誇りの持てるふるさと飛騨市づくり」を政策の基盤として策定しています。

施策の具体化とその検証

各施策の組み立てにあたっては、市民との様々な対話を通じて得られる生の声を取り入れながら各事業内容を精査するとともに、各分野の代表市民で構成する市の最上位審議会「飛騨市総合政策審議会」において、政策の検討・検証を行うものとします。

まちの将来像

本市では、次々と未知なる課題が生まれる人口減少時代の中であって、問題を前向きに捉え、一つ一つの課題に丁寧に向き合い、現場での市民の声や困り感を肌で感じる中で、様々な知恵と工夫で課題を暮らしやすさに転換しながら、市民の結束力やコミュニティの力を高めていきます。

こうした取り組みの積み重ねにより、自分自身が住み慣れた環境の中で、誰もが心豊かに穏やかに過ごすことができるまちをつくる事が出来ると考えています。

そして、こうした取り組みの一つ一つを全国にしっかり発信し、「飛騨市」の認知度を高めることが、「飛騨市に住めば何か楽しいことが起きる」、「何か楽しいことができる」という“気”を市内全域に醸成することに繋がり、本市に住み、そして関わる全ての人々が、毎日の生活を楽しく暮らすことが出来るようになると思っています。

このような考えから、本市が目指す5年後のまちの将来像を「**みんなが楽しく心豊かに暮らせるまち**」とし、誰一人取り残されず、互いを家族のように支え合えるまちづくりを進めます。

そして、まちの将来像の実現のため「元気であんな誇りの持てるふるさと飛騨市」の政策方針のもと、人口減少先進地としての全国モデルとなるまちづくりを推進していきます。

将来像実現のための基本姿勢

将来像の実現のため市が市政運営の主体となり、市民のみならず、飛騨市に関わる全ての方、企業・団体、大学などあらゆる方と一体となって今後のまちづくりを進めます。

- (1)対話と協働 (2)交流と連携 (3)挑戦と前進

指針の組み立て

【まちの将来像】 みんなが楽しく心豊かに暮らせるまち

① 対話と協働

② 交流と連携

③ 挑戦と前進

将来像実現のための 基本姿勢

元気な 飛騨市づくり ～しごとを守る～

I 誰もが働きやすく、 活躍できる元気なまち

高齢者や女性、障がいのある方や外国人など、全ての方が自分にあった働き方で生き生きと働けるまちを目指します。

- 多様な人材が活躍する産業の支援
- 少人数でも持続可能な産業の支援



II 変革への挑戦を続け、 新しい価値を創造するたくましいまち

人口減少時代のあらゆる場面でも、変革を恐れず柔軟に対応し、地域外需要の獲得に挑戦し続けるまちを目指します。

- 新たな事業・商品・サービスを創造する事業者の応援
- 自ら起業する人の支援と仕事づくり
- 地域資源を活かした産業づくり



III 様々な人や地域との交流から 所得を生み出すまち

あらゆる人や事業者等と交流し、多様な考え方やニーズを広く受け入れ、産業やまちづくりへの活力を生み出すまちを目指します。

- 思い出に残る観光地づくり
- 都市部への訴求力が高い農林畜産業づくり
- 関係人口等との交流によるまちづくり



あんな 飛騨市づくり ～まちをつくる～

I 誰一人取り残されず 大切にされる思いやりのあるまち

全ての市民がお互いを思いやり、最後まで自分の住み慣れた地で安心して暮らすことができるまちを目指します。

- 必要な医療・介護を受けられる体制づくり
- 最後まで住み慣れた場所で暮らせる仕組みづくり
- 弱い立場の方も一人ひとりありのままの自分を大事にされる環境づくり
- 安心して暮らせる公共サービスづくり



II お互いを家族のように思い、支えあえるまち

全ての市民がお互いを家族のように思い、支え合い助け合って暮らすことのできる、みんなが安心できるまちを目指します。

- みんなで支えあうコミュニティと防災体制づくり
- 楽しく子育てできる環境づくり



III 生涯現役で自分らしく暮らせる健やかなまち

全ての市民が、無理なく自分に合ったペースで健康な心と体づくりに励み、生涯現役で健やかに暮らせるまちを目指します。

- 全世代の健康づくり・体力づくりの支援
- どんな人でも自分のペースで活躍できる環境づくり



誇りの持てる 飛騨市づくり ～ひとを伸ばす～

I 子ども達の生きる力を 地域一体で育む学び豊かなまち

人口減少時代において子ども達に求められる課題解決能力を地域が一体となり育んでいくまちを目指します。

- 未知の課題に立ち向かい自ら解決することのできる子ども達を育むまちづくり



II 一人ひとりの頑張りを応援し 互いに尊敬しあえるまち

年齢・性別・出身等を問わず、自分を伸ばし成長し、どんな人・活動でも、みんなが尊敬しあえる“人”を誇れるまちを目指します。

- 生涯学び自分を磨くことができる環境づくり
- 個性あるまちづくり活動の促進



III 豊かな環境と個性ある 地域資源を大切にす誇り高いまち

個性溢れる地域資源を磨き、自然あふれる素晴らしい環境を全国・世界に自慢できる誇り高いまちを目指します。

- 地域・文化資源を大切に自慢できる仕組みづくり
- 豊かな自然と水を守り後世に引き継ぐ仕組みづくり



行財政改革

① 財政運営の方針

② 事務事業の見直しと職員定数の管理

③ 公共施設の管理運営

④ 内部統制制度の導入